

## バイオマス・ニッポン総合戦略（概要）

～2030年頃を見据えた「バイオマス・ニッポン」の姿～

- 国民一人ひとりに、バイオマスは資源として利活用されるものであるとの意識・生活習慣が定着し、生ゴミは分別収集され、肥飼料やエネルギー利用が進む。
- 稲わらの飼料としての利用の進展、家畜排泄物から作られるたい肥の品質向上により耕畜連携が図られ、環境保全型農業が進展。
- 余剰農作物が製品やエネルギー原料として非食用途に利用。農業機械にもバイオマスエネルギーが使用。
- 間伐材を含む林地残材等は、製品やエネルギーとしての利活用が進み、健全で活力ある森林が育成。下水汚泥や建設発生木材も、製品利用の他、エネルギー利用が進む。
- バイオマスタウンが全国的に構築。バイオマスプラスチック等バイオマス製品が普及。
- 輸送用燃料としてバイオマスエタノール等の利用が進展。バイオマス発電、熱利用も拡大し、エネルギーの地産地消が進展。

地球温暖化の  
スピードが減少傾向

循環型社会へ  
移行

新技術・製品の  
開発等により  
新産業が創出

エネルギーや素  
材の供給により農山  
漁村が活性化

新潟市バイオマスタウン構想

## 新潟市

### 新・新潟市総合計画

～ 目指す都市像 ～

- I 地域と共に育つ、分権型協働都市
- II 大地と共に育つ、田園型拠点都市
  - 田園と調和したまちづくり
  - 農業の魅力づくり
  - 環境重視のまちづくり
- III 世界と共に育つ、日本海交流都市
- IV 安心と共に育つ、くらし快適都市
- V 市民と共に育つ、教育文化都市

### 関連の条例・計画

- 新潟市農業及び農村の振興に関する条例
- 新潟市農業構想「農業・農村の振興方策」
- 新潟市環境基本条例
- 新潟市環境基本計画「環境施策の方向性」
- 一般廃棄物処理基本計画
- 「計画的なごみ処理、生活排水処理の推進」
- 新潟市地域新エネルギービジョン
- 「新エネルギー導入の方向性」